

2016 年 4 月 27 日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 自立生活センター・小平

1. プロジェクト名

ピアカジュアル

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

車椅子で出かける障がい者の方々が、街中で段差があったりお店の入り口が狭かったり、通路が狭かったりして、なかなか車椅子が入れないのが現状としてある。

目的は街中での段差や入り口の狭い店舗を見つけてバリアフリーチェックをしていくこと。

障がい者が街へ出て実際に車椅子で楽に出かけられるようになる様に、そういう社会にする事が目標。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

月一回車椅子の障がい者が街へ出て、段差がお店の前に何段あるかなどのチェックをして改善を求め、車椅子でも出かけやすくなるように社会に出て行くことで楽に出かけられるようにする。

身近な所から活動をしていき、バリアフリーチェックの楽しさを他の障がい者の方にも呼びかけ、徐々に広範囲のバリアフリーチェックを行っていく。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

花小金井駅を利用する参加者が多いので、花小金井駅周辺の店舗に的を絞ってバリアフリーの調査を行い、それを基にバリアフリー情報が分かる写真付きの冊子「ふり〜ウォーク」を作成した。

1 つの店舗に2、3人で行けるように振り分けることで参加者が主体的にバリアフリーチェックを行う事ができた。

スムーズに調査を行うためにバリアフリーチェック表を作成し、調査内容を反省会で意見交換や情報共有することができた。

障がい当事者である参加者が自ら地域に出て行くことにやりがいを感じ、同時に地域の方の協力や関心を得ることができた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

普段よく行くお店でも、店員に相談を持ちかけることがないので、障がい当事者が地域の方に直に声をかけることによって障害への理解を少なからず得られたのではないかな。

花小金井駅周辺だけでも、まだまだ店舗によって障害の理解やバリアフリーの設置状況が異なることがわかった。今回の活動で今すぐに改善されるわけではないが、地域の理解をより深めるためにも障がい当事者が声をかけ続ける必要があると思う。協力していただいたお店の方に感謝をしつつ継続的な活動をしていきたい。

6. 参考資料